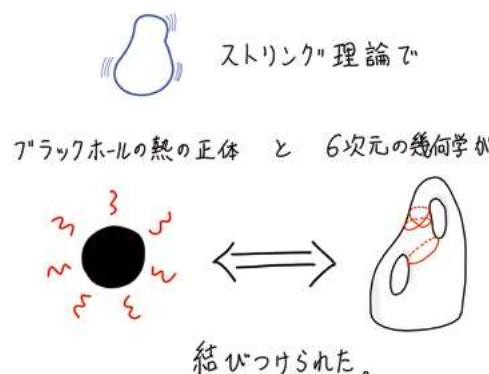




アイゼンバッド賞(アメリカ数学会)を受賞して

大栗博司 IPMU主任研究員

一般相対性理論と量子力学を統合する上で、プランクスケールのブラックホールを理解することは重要な課題でした。この研究が米国数学会に認めていただけたことで、自然の基本法則の探求が数学の研究を促進するというIPMUの理念が再確認されたと思います。



$$\sum_{\{p,q\}} N^{(p,q)} e^{S \cdot \phi} = \left| \exp \left(\sum_{g,m} F_{g,m} \lambda^{2-2g} e^{-mt} \right) \right|^2$$

\uparrow ブラックホールの状態数 \uparrow クロモ・ウヰーテン不変量

$$S = p + i\phi = (\lambda, \lambda t)$$